

科目名	生涯発達人間学		
担当教員名	長田 瑞恵		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（H）-学部専門科目		
学 年	4	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修* ,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 幼稚園教諭一種免許状		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

科目の性格

本科目は、幼稚園教諭一種免許状取得のための必修科目であり、保育士養成課程教育カリキュラムにおける「保育の対象の理解に関する科目」の一つである。1年次の最初に学ぶ専門科目の一つとして、後の養成課程の基礎の一部を成すものである。

科目の概要

発達という概念について理解を深め、人間の一生の中の最初期である乳幼児期とそれに続く児童期の特徴について理解する。そして、発達や学習の過程、生涯発達の観点から考えた障がいについても理解を深める。また、子どもが人との相互的にかかわりを通して発達していくことを具体的に理解する。

学修目標

- ・生涯発達という観点から人間をとらえ、人の一生の各時期の発達の特徴について学ぶ。
- ・特に乳幼児期から児童期にかけての身体的、心理的発達について重要性を理解する。
- ・各時期の発達の特徴と、保育や学習との関連を考察する。

内容

1	保育と発達心理学（1）子どもの発達を理解することの意義・保育実践の評価と心理学
2	保育と発達心理学（2）発達観、子ども観と保育観
3	生涯発達と初期経験の重要性（1）胎児期及び新生児期の発達
4	生涯発達と初期経験の重要性（2）乳幼児期の発達
5	生涯発達と初期経験の重要性（3）学童期から青年期の発達
6	生涯発達と初期経験の重要性（4）成人期、老年期の発達
7	子どもの発達理解（1）子どもの発達と環境
8	子どもの発達理解（2）感情の発達と自我
9	子どもの発達理解（3）身体的機能と運動機能の発達
10	子どもの発達理解（4）知覚と認知の発達・学習
11	子どもの発達理解（5）言葉の発達と社会性
12	人との相互的にかかわりと子どもの発達（1）基本的信頼感の獲得
13	人との相互的にかかわりと子どもの発達（2）他者とのかかわり・社会的相互作用
14	生涯発達の観点から考えた障がいと発達援助
15	まとめ

評価

平常点（授業内の課題）20点、学期末の筆記試験80点（自由記述課題と選択式課題）として評価を行い、60点以上を合格とする。

合格点に満たなかった場合、再試験とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】丹羽さかの（編著）・小田豊（監修）『保育の心理学I』 光生館

【推薦書】無藤隆・岩立京子編著 『乳幼児心理学』 北大路書房

無藤隆・藤崎真知代編著 『保育の心理学』 北大路書房

科目名	生涯発達人間学		
担当教員名	長田 瑞恵		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（H）-学部専門科目		
学 年	4	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 幼稚園教諭一種免許状		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

科目の性格

本科目は、幼稚園教諭一種免許状取得のための必修科目であり、保育士養成課程教育カリキュラムにおける「保育の対象の理解に関する科目」の一つである。1年次の最初に学ぶ専門科目の一つとして、後の養成課程の基礎の一部を成すものである。

科目の概要

発達という概念について理解を深め、人間の一生の中の最初期である乳幼児期とそれに続く児童期の特徴について理解する。そして、発達や学習の過程、生涯発達の観点から考えた障がいについても理解を深める。また、子どもが人との相互的にかかわりを通して発達していくことを具体的に理解する。

学修目標

- ・生涯発達という観点から人間をとらえ、人の一生の各時期の発達の特徴について学ぶ。
- ・特に乳幼児期から児童期にかけての身体的、心理的発達について重要性を理解する。
- ・各時期の発達の特徴と、保育や学習との関連を考察する。

内容

1	保育と発達心理学（1）子どもの発達を理解することの意義・保育実践の評価と心理学
2	保育と発達心理学（2）発達観、子ども観と保育観
3	生涯発達と初期経験の重要性（1）胎児期及び新生児期の発達
4	生涯発達と初期経験の重要性（2）乳幼児期の発達
5	生涯発達と初期経験の重要性（3）学童期から青年期の発達
6	生涯発達と初期経験の重要性（4）成人期、老年期の発達
7	子どもの発達理解（1）子どもの発達と環境
8	子どもの発達理解（2）感情の発達と自我
9	子どもの発達理解（3）身体的機能と運動機能の発達
10	子どもの発達理解（4）知覚と認知の発達・学習
11	子どもの発達理解（5）言葉の発達と社会性
12	人との相互的にかかわりと子どもの発達（1）基本的信頼感の獲得
13	人との相互的にかかわりと子どもの発達（2）他者とのかかわり・社会的相互作用
14	生涯発達の観点から考えた障がいと発達援助
15	まとめ

評価

平常点（授業内の課題）20点、学期末の筆記試験80点（自由記述課題と選択式課題）として評価を行い、60点以上を合格とする。

合格点に満たなかった場合、再試験とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】丹羽さかの(編著)・小田豊(監修)『保育の心理学I』 光生館

【推薦書】無藤隆・岩立京子編著 『乳幼児心理学』 北大路書房

無藤隆・藤崎真知代編著 『保育の心理学』 北大路書房

科目名	生涯発達人間学		
担当教員名	長田 瑞恵		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（H）-学部専門科目		
学 年	4	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 幼稚園教諭一種免許状		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

科目の性格

本科目は、幼稚園教諭一種免許状取得のための必修科目であり、保育士養成課程教育カリキュラムにおける「保育の対象の理解に関する科目」の一つである。1年次の最初に学ぶ専門科目の一つとして、後の養成課程の基礎の一部を成すものである。

科目の概要

発達という概念について理解を深め、人間の一生の中の最初期である乳幼児期とそれに続く児童期の特徴について理解する。そして、発達や学習の過程、生涯発達の観点から考えた障がいについても理解を深める。また、子どもが人との相互的にかかわりを通して発達していくことを具体的に理解する。

学修目標

- ・生涯発達という観点から人間をとらえ、人の一生の各時期の発達の特徴について学ぶ。
- ・特に乳幼児期から児童期にかけての身体的、心理的発達について重要性を理解する。
- ・各時期の発達の特徴と、保育や学習との関連を考察する。

内容

1	保育と発達心理学（1）子どもの発達を理解することの意義・保育実践の評価と心理学
2	保育と発達心理学（2）発達観、子ども観と保育観
3	生涯発達と初期経験の重要性（1）胎児期及び新生児期の発達
4	生涯発達と初期経験の重要性（2）乳幼児期の発達
5	生涯発達と初期経験の重要性（3）学童期から青年期の発達
6	生涯発達と初期経験の重要性（4）成人期、老年期の発達
7	子どもの発達理解（1）子どもの発達と環境
8	子どもの発達理解（2）感情の発達と自我
9	子どもの発達理解（3）身体的機能と運動機能の発達
10	子どもの発達理解（4）知覚と認知の発達・学習
11	子どもの発達理解（5）言葉の発達と社会性
12	人との相互的にかかわりと子どもの発達（1）基本的信頼感の獲得
13	人との相互的にかかわりと子どもの発達（2）他者とのかかわり・社会的相互作用
14	生涯発達の観点から考えた障がいと発達援助
15	まとめ

評価

平常点（授業内の課題）20点、学期末の筆記試験80点（自由記述課題と選択式課題）として評価を行い、60点以上を合格とする。

合格点に満たなかった場合、再試験とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】丹羽さかの(編著)・小田豊(監修)『保育の心理学I』 光生館

【推薦書】無藤隆・岩立京子編著 『乳幼児心理学』 北大路書房

無藤隆・藤崎真知代編著 『保育の心理学』 北大路書房

科目名	生涯発達人間学		
担当教員名	長田 瑞恵		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（H）-学部専門科目		
学 年	4	ク ラ ス	10クラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修* ,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 幼稚園教諭一種免許状		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

科目の性格

本科目は、幼稚園教諭一種免許状取得のための必修科目であり、保育士養成課程教育カリキュラムにおける「保育の対象の理解に関する科目」の一つである。1年次の最初に学ぶ専門科目の一つとして、後の養成課程の基礎の一部を成すものである。

科目の概要

発達という概念について理解を深め、人間の一生の中の最初期である乳幼児期とそれに続く児童期の特徴について理解する。そして、発達や学習の過程、生涯発達の観点から考えた障がいについても理解を深める。また、子どもが人との相互的にかかわりを通して発達していくことを具体的に理解する。

学修目標

- ・生涯発達という観点から人間をとらえ、人の一生の各時期の発達の特徴について学ぶ。
- ・特に乳幼児期から児童期にかけての身体的、心理的発達について重要性を理解する。
- ・各時期の発達の特徴と、保育や学習との関連を考察する。

内容

1	保育と発達心理学（1）子どもの発達を理解することの意義・保育実践の評価と心理学
2	保育と発達心理学（2）発達観、子ども観と保育観
3	生涯発達と初期経験の重要性（1）胎児期及び新生児期の発達
4	生涯発達と初期経験の重要性（2）乳幼児期の発達
5	生涯発達と初期経験の重要性（3）学童期から青年期の発達
6	生涯発達と初期経験の重要性（4）成人期、老年期の発達
7	子どもの発達理解（1）子どもの発達と環境
8	子どもの発達理解（2）感情の発達と自我
9	子どもの発達理解（3）身体的機能と運動機能の発達
10	子どもの発達理解（4）知覚と認知の発達・学習
11	子どもの発達理解（5）言葉の発達と社会性
12	人との相互的にかかわりと子どもの発達（1）基本的信頼感の獲得
13	人との相互的にかかわりと子どもの発達（2）他者とのかかわり・社会的相互作用
14	生涯発達の観点から考えた障がいと発達援助
15	まとめ

評価

平常点（授業内の課題）20点、学期末の筆記試験80点（自由記述課題と選択式課題）として評価を行い、60点以上を合格とする。

合格点に満たなかった場合、再試験とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】丹羽さかの(編著)・小田豊(監修)『保育の心理学I』 光生館

【推薦書】無藤隆・岩立京子編著 『乳幼児心理学』 北大路書房

無藤隆・藤崎真知代編著 『保育の心理学』 北大路書房

科目名	児童学概論		
担当教員名	鈴木 晴子、平田 智久、坪倉 紀代子、大宮 明子 他		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（H）-学部専門科目		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

科目の性格

この科目は、学部専門科目であり、人間生活学部各学科に共通する課題について探求する科目の一つに位置づけられている。幼児教育学科の学生には、卒業必修科目であり、他学科の学生には選択科目となっている。自分の目指す専門領域を「子ども」という視点から問い直し、新たに位置付ける可能性をそれぞれ模索してほしい。

科目の概要

児童学への入口となるオムニバス形式の科目である。本年度は“環境について考える”というテーマをもとに、本学幼児教育学科専任教員が各自の専門的観点から「子どもと環境」について講義し、学びの対象となる子どもへの興味関心を喚起する。

学修目標

- ・これまで持ってきたであろう一般的な「子ども」のイメージを一度突き崩して、多面的に子どもについて探求する。
- ・「子ども」という窓から、世の中の枠組み、身の回りの人間関係・出来事などについて見つめ直す。
- ・各講義担当者の内容について各自が作成した「講義ノート」が主要テキストとなるので、授業の内容をつかみ、ノートにまとめを整理する。

内容

1	鈴木晴：科目の目的や趣旨、内容、各教員の専門等の説明
2	宮野：多様な造形表現を認め合う環境づくりについて
3	藪崎：現代の子どもをとりまく音楽環境について考える
4	齋藤：子どもを取り巻くタバコ環境
5	山田：子どもと「水」や「土（泥）・砂」とのかかわりがもたらすもの
6	向井：子どもにとっての「親」という環境
7	鈴木康：子どもの身体活動と環境
8	上垣内：森のようちえん
9	長田：子どもの育つ人的環境
10	金勝：家庭における音楽文化
11	平田：造形の立場から・・・もの環境・ひと環境
12	大宮：幼児とメディアとの関わり
13	潮谷：子どもの生活と福祉
14	坪倉：幼児の身体表現活動とその環境について
15	まとめ

評価

各担当教員の課題への取組み（50％） 試験（50％）

合格点に満たなかった場合には「再試験」を行います。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

各担当教員が講義の中で、参考図書を紹介や資料の配布を行う予定です。

科目名	青年心理学		
担当教員名	大宮 明子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(H)-学部専門科目		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この科目は、人間生活学部児童幼児教育学科幼児教育専攻・児童教育専攻、食物栄養学科、人間福祉学科の学部専門科目である。

科目の概要

この科目では、講義形式で思春期・青年期の発達の特徴や生じうる臨床的な課題について学ぶと共に、青年期にある履修者自身の自己理解を深めるために、履修者自身が授業中にワークを行う。

学修目標

1. 思春期・青年期の発達の特徴と臨床的な課題を理解する
2. 自己理解を深める
3. 物事を感じる力とそれを文章で表現する力を磨く

内容

1	オリエンテーション：思春期・青年期の意味
2	青年期の自我の発達
3	青年期の認知発達
4	青年期の身体発達と心の発達
5	青年期の家族関係
6	青年期の友人関係
7	青年期の恋愛関係
8	前半のまとめ
9	青年と学校
10	青年と文化
11	就職とキャリア設計
12	青年期の臨床的な課題 1
13	青年期の臨床的な課題 2
14	青年期と精神疾患
15	まとめ

評価

授業中のリアクションペーパー30点、ワークの課題20点、期末試験50点で、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】資料を適宜配布する。

【推薦書】宮下一博監修 松島公望・橋本広信編「ようこそ！青年心理学」ナカニシヤ出版
大野久編著「エピソードでつかむ青年心理学」 ミネルヴァ書房

科目名	老年学概論		
担当教員名	中村 幸子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（H）-学部専門科目		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

加齢現象のもたらす個人的、社会的な意義を把握する。

高齢者をとりまく社会状況について理解する。

高齢社会の進展の中で高齢者福祉の意義と概要を学習する。高齢者を取り巻く社会的状況を理解し、高齢者福祉制度について学ぶ。

内容

少子高齢社会の到来と意義について

加齢に伴う心身の状態の変化とその意味

高齢者家族の変容について

地域社会と扶養機能の変化について

経済生活と年金について

就労と社会参加について

介護問題と社会福祉サービスについて

まとめ

評価

学習状況・レポート提出状況（40%）、ペーパーテスト（60%）により総合的に評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】適宜、資料配布

【推薦書】改訂『新選 一部改訂 高齢者福祉論』 みらい

科目名	子育て支援論		
担当教員名	向井 美穂		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(H)-学部専門科目		
学 年	4	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

本科目は保育士養成課程カリキュラムの「保育の対象の理解に関する科目」に関する科目の一つであり、「家庭の意義とその機能」「子育て家庭を取り巻く社会的状況」「子育て家庭の支援体制」「子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と関係機関との連携」について理解することが求められています。昨今の子育て環境の変化を踏まえ、子育ての現状を知ることから始め、現代社会において求められている子育て支援とはどのようなものかについて考えを深めることを目指します。

また受講者自身が出来る子育て支援とはどのようなものかについて考え、そこから「子どもを育てる」ことの意義について考えを深めていくこととします。

内容

1.家庭支援の意義と役割

- (1) 家庭の意義と機能 - 親になるとは - (第1回)
- (2) 家庭支援の必要性 (第2回)
- (3) 家族の機能とは (第3回)

2.家庭生活を取り巻く社会的状況

- (1) 子育てするとは? (第4回)
- (2) 子どもにとっての家族とは? - 家族形態の変容 - (第5回)
- (3) 子育ての実際 (第6回)
- (4) 子育てに必要な社会資源 (第7回)

3.多様な支援の展開と関係機関との連携

- (1) 子育て支援サービスの概要
 - 保育所での実践例 (第8回)
 - 地域の子育て家庭への実践例 (第9回)
 - 地域の子育て家庭への実践例 その2 (第10回)
- (2) 要保護児童及びその家庭に対する支援
 - 保健所での実践例 (第11回)
 - 児童相談所の実践例 (第12回)
- (3) 子育て支援機関との連携
 - 虐待を防ぐ取り組み (第13回)

4.他の国の子育て支援について (第14回)

5.まとめ (第15回)

評価

授業後の小レポート(30点)、授業への参加意欲(20点)、および最終課題(50点)により総合的評価を行います。

60点以上を合格とします。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書：授業内で指定する。

参考図書：大豆生田啓友他編「よくわかる子育て支援・家族援助論」ミネルヴァ書房

橋本真紀他編「よくわかる家族援助論」ミネルヴァ書房

汐見稔幸編「世界に学ぼう!子育て支援」フレーベル館

科目名	子育て支援論		
担当教員名	向井 美穂		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(H)-学部専門科目		
学 年	4	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

本科目は保育士養成課程カリキュラムの「保育の対象の理解に関する科目」に関する科目の一つであり、「家庭の意義とその機能」「子育て家庭を取り巻く社会的状況」「子育て家庭の支援体制」「子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と関係機関との連携」について理解することが求められています。昨今の子育て環境の変化を踏まえ、子育ての現状を知ることから始め、現代社会において求められている子育て支援とはどのようなものかについて考えを深めることを目指します。

また受講者自身が出来る子育て支援とはどのようなものかについて考え、そこから「子どもを育てる」ことの意義について考えを深めていくこととします。

内容

1.家庭支援の意義と役割

- (1) 家庭の意義と機能 - 親になるとは - (第1回)
- (2) 家庭支援の必要性 (第2回)
- (3) 家族の機能とは (第3回)

2.家庭生活を取り巻く社会的状況

- (1) 子育てするとは? (第4回)
- (2) 子どもにとっての家族とは? - 家族形態の変容 - (第5回)
- (3) 子育ての実際 (第6回)
- (4) 子育てに必要な社会資源 (第7回)

3.多様な支援の展開と関係機関との連携

- (1) 子育て支援サービスの概要
 - 保育所での実践例 (第8回)
 - 地域の子育て家庭への実践例 (第9回)
 - 地域の子育て家庭への実践例 その2 (第10回)
- (2) 要保護児童及びその家庭に対する支援
 - 保健所での実践例 (第11回)
 - 児童相談所の実践例 (第12回)
- (3) 子育て支援機関との連携
 - 虐待を防ぐ取り組み (第13回)

4.他の国の子育て支援について (第14回)

5.まとめ (第15回)

評価

授業後の小レポート(30点)、授業への参加意欲(20点)、および最終課題(50点)により総合的評価を行います。

60点以上を合格とします。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書：授業内で指定する。

参考図書：大豆生田啓友他編「よくわかる子育て支援・家族援助論」ミネルヴァ書房

橋本真紀他編「よくわかる家族援助論」ミネルヴァ書房

汐見稔幸編「世界に学ぼう!子育て支援」フレーベル館

科目名	家族関係論		
担当教員名	大友 由紀子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(H)-学部専門科目		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

人間生活の基本単位である家族という小集団と、そこでの人間関係の特徴を理解する。家族は、男女が結婚することによってつくり、子どもの誕生によって成員を増やし、やがて子どもが独立することで規模を縮小し、最後は老夫婦のいずれか一方の死によって消滅するという、ライフサイクルを持っている。ライフサイクルのそれぞれのライフステージには、それぞれの生活課題がある。近年、わが国では未婚晩婚化、晩産化が進み、ライフサイクルの平均像が大きく異なっている。本科目では、家族関係における周期的な変化と時代的な変化を、実証的に読み解く力を習得する。

内容

1	ガイダンス - 家族の捉え方
2	家族のかたち - 1 . 核家族の二面性
3	家族のかたち - 2 . 家族の種類と分類
4	家族のかたち - 3 . 家族形態の変化
5	結婚と家族形成 - 1 . 異性交際
6	結婚と家族形成 - 2 . 配偶者選択
7	結婚と家族形成 - 3 . 結婚のかたち
8	結婚と家族形成 - 4 . 結婚の変化
9	発達する家族 - 1 . 家族のライフサイクル
10	発達する家族 - 2 . ライフサイクルの変化
11	発達する家族 - 3 . ライフコースと世代
12	家族のライフステージと発達課題 - 1 . 夫婦関係
13	家族のライフステージと発達課題 - 2 . 前期親子関係
14	家族のライフステージと発達課題 - 3 . 後期親子関係
15	総括

評価

学期末のペーパー試験(70%)と授業時の課題(30%)によって評価する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【推薦書】

湯沢雅彦・宮本みち子『新版 データで読む家族問題』NHKブックス、2008。

野乃山久也編『論点ハンドブック 家族社会学』世界思想社、2009。

科目名	人間生命科学		
担当教員名	志村 二三夫		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(H)-学部専門科目		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

1. ねらい

科目の性格：科学的素養としての基礎生命科学の初歩や、生命体としての人体の構成と特性を学ぶ。近年目覚ましい発展を遂げてきたバイオサイエンスに親しみ、“生命とは何か”という永遠のテーマについて思索する上でも不可欠な、物質生化学や代謝生化学の基本的な知識・理解を充実させるとともに、簡単な医化学的知識を身につけることもめざす。生体機械論に対する拒絶や偏見を取り除くこともねらいとする。

科目の概要：生命とは何か”という永遠のテーマについて現代的観点から思索する上で必要な科学的素養としての基礎生命科学の初歩や、生命体としての人体の構成と特性等を学ぶ。

学修目標：科目の概要と以下の目標と講義計画を確認し、教科書を事前によく読んだ上で授業に臨み、講義内容をよく理解することをめざす。ノートやチェック項目を整理して事後学習を心がけ、反復学習により基本事項・重要事項がよく身に付くようにする。

1. 細胞が生命の基本単位であることを理解する。
2. 細胞はタンパク質の働きで構築され、機能することを理解する。
3. DNA makes RNA makes Protein makes Cell makes Lifeという流れを理解する。
4. 現代の生命科学の諸課題について概要を理解する。

内容

2. 内容

1. 生命とは何か：人間生活 = じんかんいきいき
2. 生物の本質的屬性
3. 生命の基本単位：細胞
4. 生命の基本単位：細胞
5. 生命と生体の秩序
- 6~8. タンパク質の存在様式としての生命：ミクロの機械としてのタンパク質、そのエネルギー源としてのATPの重要性 ~
- 9~11. 遺伝子はタンパク質の設計図：遺伝子の実体とその発現 ~
12. 生きることは栄養すること：なぜ人間は他の生命体を食べるのか
- 13~14. エネルギー-栄養素は人体内では燃えない：どうやってATPをつくり、酸素を利用するのか ~
15. 再び生命とは何か：地球環境・人間と生命

評価

3. 評価

レポート3割(30%) 筆記試験7割(70%) 60点以上を合格とする。
合格点に満たなかった場合は「再試験」を実施する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

- 【教科書】木下勉・小林秀明・浅賀宏昭 『ZEROからの生命科学』 南山堂
【推薦書】五十嵐脩・志村二三夫(編著) 『生化学』 光生館 491.4/S

科目名	教育人間学		
担当教員名	狩野 浩二		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(H)-学部専門科目		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

人間生活学部における学部専門科目(学部における共通科目)として開講します。ヒトが長い歴史の中で身につけてきた子育ての文化に学ぶ科目です。

学校教育が開始される以前の日本の社会で、長い時間をかけて洗練されてきた子育ての習俗について学びます。

資料を読み、課題を発見し、仲間同士で話し合うことができるようになる、グループごとに一つの課題について研究することができる、研究結果を発表し、受講生同士が互いに内容を深めあうことができる、ということをねらいとします。

内容

以下の項目を取り上げます(順不同)。

1. 人間らしさとは何か
 - 1) 生物と子育て
 - 2) 人間の可能性について
 - 3) 人間の生命力
2. 人間らしさを伝える方法
 - 1) 書物のない社会
 - 2) 一人前
 - 3) 習俗としての子育て
3. これからの時代の生き方と子育て
 - 1) 教えること
 - 2) 学ぶこと
 - 3) 生き抜くこと
4. 公教育の考え方
 - 1) 公とはどういうことか
 - 2) 学校づくり
 - 3) 地域と学校の関わり
5. 子育てのとらえ直し
 - 1) 子どもと自然
 - 2) 子育ての習俗に学ぶ
 - 3) 身体と表現

評価

各回ごとの課題作成(30%)、口頭発表(30%)、グループでの話し合い(40%)を総合して評価します。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【推薦書】 大田堯著『学力とは何か』岩波新書 大藤ゆき『子育ての民俗 一人前に育てる』草土文化 宮本常一『家郷

の訓』岩波文庫 網野善彦『日本の歴史をよみなおす』ちくま学芸文庫

【参考図書】 細谷俊夫、河野重男、奥田真丈、今野喜清編『新教育学大事典』第一法規 悔悟宗臣監修『日本近代教育史事典』平凡社 大田堯、中内敏夫、民間教育史料研究会編『民間教育史研究事典』評論社

科目名	健康科学概論		
担当教員名	森 三樹雄		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(H)-学部専門科目		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

わが国は先進国として、少子高齢化が社会問題となっており、平均寿命は世界一になりましたが寝たきりの老人は増えております。高齢化と共に、生活習慣病が国民の健康をむしばむようになってきました。生活習慣病には、糖尿病、痛風、肥満、心筋梗塞、脳梗塞、がんなどがありますが、これらの病気の原因、検査、治療を理解することが必要です。その他の病気についても勉強し、幅広い知識を身につけましょう。この講座で、疾病についての基本的な知識を身につけ、自分自身や家族の健康に役立つ知識を習得できます。

内容

1	病気・医療・検査について
2	循環器疾患
3	呼吸器疾患
4	消化器疾患
5	肝・胆道・膵疾患
6	腎・尿路系疾患
7	血液・造血器疾患
8	内分泌疾患
9	精神・神経・筋・骨の疾患
10	糖尿病と脂質異常症・痛風
11	自己免疫疾患・膠原病
12	感染症
13	女性生殖器疾患・臓器移植
14	まとめ1
15	まとめ2

評価

課題の口頭発表(30%)、レポート(20%)、試験(50%)で、三分の二以上(10回以上)出席することで評価を受けることができます。合格点に満たなかった場合は、原則として再試験は行いません。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書 森 三樹雄編 『やさしい臨床検査』 南山堂 2008

科目名	食文化人類学		
担当教員名	沢野 勉		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(H)-学部専門科目		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

世界各地には、さまざまな食べものがあり、それぞれ食習慣も異なっている。本講では食を文化の視点で捉えて、各地の食べもの、食習慣、食作法などを比較・考察する。食生活は気候・風土、生産条件、経済などの影響を受けるのは当然だが、これは同時に、その地域の人びとの自然観、宗教、文学や芸術の世界とも深く結びついている。食と人間と社会の関係を広い視野で見つめて、いろいろなジャンルの話題を探して、食の課題を考えていくのが本講のねらいである。

内容

1. 食文化人類学と学習の意義；文化と文明 / culture、agriculture、viticulture / 文化人類学の諸分野と食文化人類学の位置づけ
2. 風土と食物；アジアモンスーン地帯の特性 / 和辻哲郎『風土』の問題提起 / 「湿」の文化と「乾」の文化 / わび・さびの自然観 / 「水に流す」と「湯水のように」 / 生在蘇州、住在杭州、衣在上海、食在広州、死在柳州 / ベトナムのフランスパン - 植民地支配と食
3. 食の思想と肉・魚；森の民と豚 - ドイツでのヴルストの発達 / グリム童話にみる食 / 羊の家畜化と遊牧民の生活 / 日本人と魚食 / 宗教と食物禁忌 / イスラム教の豚とヒンズー教の牛 / 仏教と食
4. 日本人と米；宮澤賢治『雨ニモマケズ』に見る米 / 粉食と粉食と食の規制 / しゃもじ権と女性の地位 / 麹文化の発展と微生物工業
5. 日本における東西の食文化；サケ圏とブリ圏 / 食塩摂取の地域差 / 土用のうなぎと牛肉 / ラーメンのだしの地域差 / 丸餅と切餅 / 納豆と豆腐
6. 食の道具と食作法；箸食と手食 / パスタとフォーク / 日本の食卓での匙の欠落 / 食器の個用と共用 / 箱膳の知恵 / 食卓でのDIY
7. 食のことばと味の表現；食べものの雅称と忌みことば / 味の種類とおいしさの表現 / ことわざにみる食生活の知恵 / 商品のネーミング考
8. 現代の食事情とフュージョンフード；多様化する食 / 時代による嗜好の推移 / 行事と食べ物 / 国際化した寿司 / 激辛ブームと香辛料 / B級グルメと地産地消
9. まとめ；次代に伝える食の文化

1,8,9は1週、2、3、4、5、6、7を2週を当て、計15週とする。

評価

レポートおよびレポート発表により評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テキストは使用せず、主としてノートによる。参考書を随時紹介する。関係用語のプリント配布。食文化に関連するビデオを視聴する。

科目名	男女共同参画論		
担当教員名	亀田 温子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(H)-学部専門科目		
学 年	4	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

1 全学共通科目 十文字学A「女性を学ぶ」の1科目で、選択必修

2 現代社会では、女性にとって職業をどのように考えるかは重要なテーマです。社会人につながる大学教育において、特に女子大学ではこのテーマを学習の中心とすることが最近では多くなっています。多様な、また長期的な職業生活が予想される未来を想定し、職業にかかわる知識をもち、職業支援や子育て支援の様々な制度を知ることから、未来へはばたくイメージ形成を行い、自らのプランをつくる力を養うことにつなげる。

3 現代の動きをとらえるためにビデオなどを活用。グループワークなども実施する予定。

内容

1回 わたしの10年後は・キャリア・ライフのイメージ

2 - 3回 「ウーマン・オブ・ザ・イヤー」に見る活躍する女性たち
・ライフサイクル論

4 - 5回 広がる女性の職業進出
・長期化と多様な働き方
・職種の拡大、地位の拡大

6 回 チャレンジする女性たち

7 - 8回 仕事に関わる社会制度・子育て支援
・均等法、子育て支援制度

9 回 社会人基礎力ー望まれる能力とは

10 - 12回 企業の変化
・ファミリーフレンドリー企業とは

13回 家庭生活と職業
イクメンプロジェクト、ワーク・ライフバランス

14 - 15回 女性のキャリア形成・私のキャリアプラン作り

評価

レポート60点、授業への参加度30点、報告10点 により合計100点とする。

60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

「日経ウーマン」他、授業時に紹介する。

科目名	男女共同参画論		
担当教員名	東 聖子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(H)-学部専門科目		
学 年	4	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

詩人のゲーテは、「バラを見たら詩を書け、リンゴを見たらかじりつけ」(「ファウスト」)と語った。彼にとって女性は<バラやリンゴ>のように、その美しさをめでるものでもあり、また芸術や命の源泉だった。日本の江戸時代の女訓書『女大学』には、女性は<和順・貞信>であれと、説いている。21世紀の現代女性たちは、それぞれの個性に従いつつも、どう未来予想図を設計していったらよいのだろう。世界と日本の様々な芸術的な創造をした女性たちをふりかえり、彼女たちが時代といかに格闘しあるいは調和し、個性を輝かせていったかを学んでゆきたい。

古今東西の文学者のみならず、さまざまなジャンルにわたる女性の芸術家を対象とする。それぞれの女性たちが生きた時代の社会通念や、時代精神、歴史的背景などもあわせて考えてゆきたい。

最終的には、さまざまな過去の女性たちの生き方の中から、自分の理想とする女性観を見出していきたい。あわせて、他の女性あり方や世代間の理解を深め、芸術作品を楽しみながら学んでゆきたい。

内容

1	<序 未来予想図のなかの理想の女性観>浮世絵の中の女性たち
2	日本の江戸時代の女性観(『女大学宝箱』と中国の女訓書)
3	西洋と現代日本の女性観(若桑みどり『お姫様とジェンダー』他)
4	【芸術に生きる】西洋の女性のデザイナー(ココシャネルの生き方)
5	現代日本の芸術家(ピアニストのフジ子ヘミング)
6	【文学に生きる】西洋の小説家(モンゴメリー『赤毛のアン』)
7	カナダの大自然と女流作家の人生
8	日本の江戸時代の女流俳人(芭蕉の弟子の園女)
9	松尾芭蕉の女性観
10	日本の江戸時代の儒学者の妻(頼山陽の母)
11	紙芝居「頼山陽の母」
12	【絵画に生きる】日本の近代の女流画家(上村松園)
13	西洋の挿絵画家・童話作家(ターシャ・テューダー)
14	自然とともに生きる
15	まとめ

評価

評価は平常点(20点)とレポート(80点)を合計し、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】特に、教科書は使用しない。毎回、授業の時にプリントを配布する。

【参考文献】石川松太郎編『女大学集』(東洋文庫302、平凡社、1987)

総合女性史研究会『日本女性の歴史』（角川選書237、1993）

若桑みどり『象徴としての女性像』（筑摩書房）

科目名	男女共同参画論		
担当教員名	小林 実		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(H)-学部専門科目		
学 年	4	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

明治時代に生まれた「女学(じょがく)」と、その教育の行く末を、ひとりの女性の生涯を通してながめながら、女性と文学、女性と政治、女性と経済など、日本近代史の各分野と女性との関わりを考察することを目的としています。

カリーライスやボルシチで有名なレストラン・新宿中村屋。各地のデパートにも出店して、月餅や煎餅などの贈答用菓子の販売も手がけている、おなじみの老舗は、かつて大正時代から昭和初期にかけて、美術家や作家、俳優、宗教家、政治家などが、文字どおり世界中から集まる「サロン」の場となっていました。その立役者となるのが女将である、相馬黒光です。

没落士族の家庭に育ち、明治の女学校教育を経て、やがて近代のハイカラ文化を一身に背負うことになる彼女の生涯には、巖本善治、島崎藤村、星野天知、国木田独步、内村鑑三、荻原碌山、中村彝(つね)、秋田雨雀、神近市子、頭山満、エロシェンコ、ボース、松井須磨子、etc.....じつに多彩な顔ぶれが関わり、さながら近代日本文化の中継点の観を呈しています。

この黒光の生涯を軸に、幕末から昭和初期にかけての、政治史・文学史・文化史を多角的に論じていきたいと思ひます。

内容

1	プロローグ
2	仙台の明治維新
3	東京の叔母さん
4	上京まで
5	宗教より文学へ
6	新文学運動および浪漫主義
7	『浮雲』の世界
8	文化と資本
9	フェリス退学まで
10	明治女学校
11	にぎやかな生活
12	結婚生活のはじまり
13	開店まで
14	中村屋の商法
15	新宿中村屋

評価

毎回の授業時に提出するリアクション・ペーパー(50%)、学期末レポート(50%)。合計60%以上を合格とします。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【推薦書】相馬黒光『黙移 相馬黒光自伝』（平凡社ライブラリー）、宇佐美承『新宿中村屋相馬黒光』（集英社）、白井吉見『安曇野』（筑摩書房）

科目名	男女共同参画論		
担当教員名	宮城 道子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（H）-学部専門科目		
学 年	4	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

学部専門科目のうち、テーマ別の選択科目 女性の地位向上、男女共同参画の推進という国際的課題への取り組みによって、わが国の女性たちの働き方はおおきく変化した。なかでも、女性たちが自ら事業を起こすという活動は、様々な意味でオルタナティブな提案を含み、注目を集めてきた。先進国における女性の起業動向や発展途上国における所得創出事業も視野におきながら、現代社会における起業を通じて女性の働き方を検討する。事例検討を重視し、履修者が分担して発表・報告を行なうようにする。能動的・主体的な履修者を歓迎する。 現代の多様な働き方を理解し、自らの職業選択を確かなものとする知識を得る。

内容

1	労働・職業観の歴史的変化
2	働き方の多様化と現代の課題
3	起業が社会的関心となった社会的状況
4	わが国における起業の動向
5	事例検討1：生活ニーズからの起業
6	事例検討2：生活技術とビジネスチャンス
7	事例検討3：家族自営における経営参画
8	事例検討4：地域振興・地域間交流への貢献
9	事例検討5：ボランティアから持続的事业へ
10	事例検討6：福祉的事业の展開 - ミッションとプロフィット
11	起業の現状と課題
12	起業を支援する施策・制度
13	起業のネットワークおよび高齢者・学生・障害者による起業
14	事業が実現するもの - オルタナティブなマネジメント
15	レポートの発表と講評

評価

事例発表への参加態度（20点）、期末レポート（80点）とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

推薦書：金森トシエ・天野正子・藤原房子・久場嬉子『女性ニューワーク論』有斐閣、1989 366.35/J

地域社会計画センター編『農村の女性起業家たち』家の光協会、1994 611.7/C

岩崎由美子・宮城道子編著『成功する農村女性起業』家の光協会、2001 611.7/S

赤松良子『均等法をつくる』勁草書房、2003

科目名	マルチメディア活用		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（H）-学部専門科目		
学 年		ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状（福祉） / 小学校教諭一種免許状		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報基礎」の科目の一つであり、基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要不可欠な基礎的知識や態度を身につける。主にコンピュータ操作、インターネット、日本語文書処理ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法について学習する。

学修目標

学内の情報環境を理解し、利用できる。

インターネットや電子メールの概念を理解し、利用できる。

文書作成機能を使ってビジネス文書やレポート・論文を作成することができる。

プレゼンテーション資料を作成することができる。

内容

1	オリエンテーション、コンピュータ操作の基礎、学内の情報環境と利用方法
2	オペレーティングシステムの基本操作とファイル操作
3	インターネットと電子メール
4	ワープロソフトの基本操作（文書の作成と管理）
5	ワープロソフトの基本操作（文書の編集機能）
6	ワープロソフトの応用操作（表やグラフを挿入した文書の作成）
7	ワープロソフトの応用操作（ビジュアルな文書の作成）
8	論文・レポートの書き方（読みやすいレイアウトの長文作成）
9	論文・レポートの書き方（長文の編集と加工）
10	プレゼンテーションソフトの基本操作（プレゼンテーション資料の作成）
11	プレゼンテーションソフトの応用操作（効果的なプレゼンテーション資料の作成）
12	プレゼンテーションの実施
13	総合課題演習（文書作成）
14	総合課題演習（レポート作成）
15	まとめ

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書

「情報処理の基礎」日経BP社

推薦書

佐藤望 編著「アカデミック・スキルズ」慶応義塾大学出版会

科目名	マルチメディア活用		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(H)-学部専門科目		
学 年		ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(福祉) / 小学校教諭一種免許状		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、必修で開講されるコンピュータ演習の基礎になる授業です。この科目の後にある、マルチメディア活用 につなげていきます。

この講座は、Office2013対応のWindows 8を使用し、Word、Power Pointが活用できるように、実習をしながら学修します。

学修目標は、今日の社会に不可欠となったコンピュータについて実習をしながら学びます。現在では、ほとんどの学生が、高等学校までにパソコンの授業を受講してきていますが、パソコンをただ”使える”ということではなく、”いかに活用できるか”ということが必要になってきます。そのために必要な技術を自分のものにしていただくため、技能を伸ばしていきます。

1.基本的な操作方法を習得。2.レポート提出に困らない技術を習得。3.必要な情報を収集し、まとめる力を養う。これらを目標に基礎を着実に身につけていきましょう。

内容

1	機器の使用法と簡単な入力練習
2	パソコンの基本操作 ウィンドウ操作、文章の入力、電子メール操作
3	文書入力 書式の設定、フォーマット、保存の仕方
4	細かい入力操作の反復、ワードアート・クリップアートの活用
5	文書作成(1) 美しい文書を作成する
6	文書作成(2) 罫線・表の入った文書を作成する
7	文書作成(3) ネット検索とペイントと文書作成
8	パワーポイント(1) 資料を作る
9	パワーポイント(2) えんだよりを作る
10	パワーポイント(3) 絵や写真を入れて作品を作る
11	パワーポイント(4) アニメーションを加える
12	エクセルを使ってみる。セルの扱いと表の役割
13	エクセルで計算式をいれた表を作成する
14	エクセルの活用 グラフの作成 シートの扱い
15	まとめ

評価

通常の授業の態度70点 課題70点、学期末のテスト60点、合計が120点以上を合格とする。

その他、演習科目に準じ欠席が3回未満を条件とし、ほぼ毎回与えられる課題が提出期限及び要求水準を満たしていることを条件とします。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】教科書は使用しません。毎回、プリント教材を配布します。
他に、印刷用紙を用意すること。

科目名	マルチメディア活用		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(H)-学部専門科目		
学 年		ク ラ ス	1Cクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(福祉) / 小学校教諭一種免許状		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報基礎」の科目のひとつであり、基本的な情報機器の操作技能を修得します。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要な基礎的知識や態度を身につける。主にコンピュータ操作、インターネット、日本語文書処理ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法について学習する。

学修目標

学内の情報環境を理解し、利用できる。

インターネットや電子メールの概念を理解し、利用できる。

文書作成機能を使ってビジネス文書やレポート・論文を作成することができる。

プレゼンテーション資料を作成することができる。

全学共通です。

内容

全学共通です

1	オリエンテーション、コンピュータ操作の基礎、学内の情報環境と利用方法
2	オペレーティングシステムの基本操作とファイル操作
3	インターネットと電子メール(Eメール)
4	ワープロソフト(Microsoft Word)の基本操作 : 文書の作成と管理
5	ワープロソフト(Microsoft Word)の基本操作 : 文書の編集機能
6	ワープロソフト(Microsoft Word)の応用操作 : 表やグラフを挿入した文書の作成
7	ワープロソフト(Microsoft Word)の応用操作 : ビジュアルな文書の作成
8	論文・レポートの書き方 : 読みやすいレイアウトの長文作成
9	論文・レポートの書き方 : 長文の編集と加工
10	プレゼンテーションソフト(Microsoft PowerPoint)の基本操作 : 資料の作成
11	プレゼンテーションソフト(Microsoft PowerPoint)の応用操作 : 効果的な資料の作成
12	プレゼンテーション(Microsoft PowerPoint)の実施
13	総合課題演習(文書作成)
14	総合課題演習(レポート作成)
15	まとめ

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

北原俊一・安達一寿・中尾茂子『情報処理の基礎 十文字学園女子大学情報処理基礎共通テキスト』2011 日経BP社

科目名	マルチメディア活用		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(H)-学部専門科目		
学 年		ク ラ ス	1Dクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(福祉) / 小学校教諭一種免許状		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報基礎」の科目の一つであり、基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要な基礎的知識や態度を身につける。主にコンピュータ操作、インターネット、日本語文書処理ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法について学習する。

学修目標

学内の情報環境を理解し、利用できる。

インターネットや電子メールの概念を理解し、利用できる。

文書作成機能を使ってビジネス文書やレポート・論文を作成することができる。

プレゼンテーション資料を作成することができる。

内容

1	オリエンテーション、コンピュータ操作の基礎、学内の情報環境と利用方法
2	オペレーティングシステムの基本操作とファイル操作
3	インターネットと電子メール
4	ワープロソフトの基本操作1(文書の作成と管理)
5	ワープロソフトの基本操作2(文書の編集機能)
6	ワープロソフトの応用操作1(表やグラフを挿入した文書の作成)
7	ワープロソフトの応用操作2(ビジュアルな文書の作成)
8	論文・レポートの書き方1(読みやすいレイアウトの長文作成)
9	論文・レポートの書き方2(長文の編集と加工)
10	プレゼンテーションソフトの基本操作(プレゼンテーション資料の作成)
11	プレゼンテーションソフトの応用操作(効果的なプレゼンテーション資料の作成)
12	プレゼンテーションの実施
13	総合課題演習1(文書作成)
14	総合課題演習2(レポート作成)
15	まとめ

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	マルチメディア活用		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(H)-学部専門科目		
学 年		ク ラ ス	1Eクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(福祉) / 小学校教諭一種免許状		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目では、大学での学習や社会で必要となる情報に関する基礎的な知識の習得を目指す。情報処理演習、コンピュータ表現系の科目の基礎となる。

科目の概要

情報とはどのようなものか、コンピュータ内部やインターネット上でやり取りする様々な情報の表現方法について学ぶ。また、コンピュータやネットワークのしくみについて、情報と社会について学ぶ。

学修目標

1. 情報量について理解し、情報の表現方法・伝達方法がわかる。
2. インターネットやコンピュータのしくみが分かる。
3. 社会での情報ネットワークの利用について理解する。

内容

- 1 オリエンテーション、コンピュータ操作の基礎、学内の情報環境と利用方法
- 2 オペレーティングシステムの基本操作とファイル操作
- 3 インターネットと電子メール
- 4 ワードプロソフトの基本操作1(文書の作成と管理)
- 5 ワードプロソフトの基本操作2(文書の編集機能)
- 6 ワードプロソフトの応用操作1(表やグラフを挿入した文書の作成)
- 7 ワードプロソフトの応用操作2(ビジュアルな文書の作成)
- 8 論文・レポートの書き方1(読みやすいレイアウトの長文作成)
- 9 論文・レポートの書き方2(長文の編集と加工)
- 10 プレゼンテーションソフトの基本操作1(プレゼンテーション資料の作成)
- 11 プレゼンテーションソフトの応用操作(効果的なプレゼンテーション資料の作成)
- 12 プレゼンテーションの実施
- 13 総合課題演習1(文書作成)
- 14 総合課題演習2(レポート作成)
- 15 まとめ

1	情報社会と情報
2	情報の表現
3	コンピュータの計算の仕組み
4	コンピュータのハードウェア
5	コンピュータのソフトウェア
6	ネットワークの仕組み
7	インターネット

8	社会でのインターネットの活用
9	経営情報システム
10	身近なコミュニケーションツール
11	電子商取引とネットビジネス
12	情報セキュリティ
13	情報倫理
14	まとめ
15	まとめとふり返し

評価

授業中の提出物30%、試験70%により評価を行い、60点以上を合格とする。合格点に満たなかった場合、レポートを課す。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】井口磯夫『デジタル世代のための情報基礎』ムイスリ出版

【参考図書】大村平『情報のはなし』日科技連、久野靖・辰巳丈夫・佐藤義弘『最新情報リテラシー』日経BP社、山川修・田中武之・菊沢正裕『情報リテラシー』森北出版

科目名	マルチメディア活用		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(H)-学部専門科目		
学 年		ク ラ ス	1Fクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(福祉) / 小学校教諭一種免許状		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報基礎」の科目の一つであり、基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要な基礎的知識や態度を身につける。主にコンピュータ操作、インターネット、日本語文書処理ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法について学習する。

学修目標

- ・学内の情報環境を理解し、利用できる。
- ・インターネットや電子メールの概念を理解し、利用できる。
- ・文書作成機能を使ってビジネス文書やレポート・論文を作成することができる。
- ・プレゼンテーション資料を作成することができる。

内容

- 01．オリエンテーション、コンピュータ操作の基礎、学内の情報環境と利用方法
- 02．オペレーティングシステムの基本操作とファイル操作
- 03．インターネットと電子メール
- 04．ワープロソフトの基本操作(文書の作成と管理)
- 05．ワープロソフトの基本操作(文書の編集機能)
- 06．ワープロソフトの応用操作(表やグラフを挿入した文書の作成)
- 07．ワープロソフトの応用操作(ビジュアルな文書の作成)
- 08．論文・レポートの書き方(読みやすいレイアウトの長文作成)
- 09．論文・レポートの書き方(長文の編集と加工)
- 10．プレゼンテーションソフトの基本操作(プレゼンテーション資料の作成)
- 11．プレゼンテーションソフトの応用操作(効果的なプレゼンテーション資料の作成)
- 12．プレゼンテーションの実施
- 13．総合課題演習(文書作成)
- 14．総合課題演習(レポート作成)
- 15．まとめ

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業時に指定する。

(全学共通のテキストを使います。後日書名などお知らせします。)

科目名	マルチメディア活用		
担当教員名	綿井 雅康		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（H）-学部専門科目		
学 年	4	ク ラ ス	1Gクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状（福祉） / 小学校教諭一種免許状		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報基礎」の科目の一つであり、基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要不可欠な基礎的知識や態度を身につける。主にコンピュータ操作、インターネット、日本語文書処理ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法について学習する。

学修目標

学内の情報環境を理解し、利用できる。

インターネットや電子メールの概念を理解し、利用できる。

文書作成機能を使ってビジネス文書やレポート・論文を作成することができる。

プレゼンテーション資料を作成することができる。

内容

- 1．オリエンテーション、コンピュータ操作の基礎、学内の情報環境と利用方法
- 2．オペレーティングシステムの基本操作とファイル操作
- 3．インターネットと電子メール
- 4．ワープロソフトの基本操作（文書の作成と管理）
- 5．ワープロソフトの基本操作（文書の編集機能）
- 6．ワープロソフトの応用操作（表やグラフを挿入した文書の作成）
- 7．ワープロソフトの応用操作（ビジュアルな文書の作成）
- 8．論文・レポートの書き方（読みやすいレイアウトの長文作成）
- 9．論文・レポートの書き方（長文の編集と加工）
- 10．プレゼンテーションソフトの基本操作（プレゼンテーション資料の作成）
- 11．プレゼンテーションソフトの応用操作（効果的なプレゼンテーション資料の作成）
- 12．プレゼンテーションの実施
- 13．総合課題演習（文書作成）
- 14．総合課題演習（レポート作成）
- 15．まとめ

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

「情報処理の基礎 - 十文字学園女子大学情報処理基礎共通テキスト - 」 日経BP社

科目名	マルチメディア活用		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(H)-学部専門科目		
学 年		ク ラ ス	1Hクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(福祉) / 小学校教諭一種免許状		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報基礎」の科目の一つであり、基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要な基礎的知識や態度を身につける。主にコンピュータ操作、インターネット、日本語文書処理ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法について学習する。

学修目標

学内の情報環境を理解し、利用できる。

インターネットや電子メールの概念を理解し、利用できる。

文書作成機能を使ってビジネス文書やレポート・論文を作成することができる。

プレゼンテーション資料を作成することができる。

内容

1	オリエンテーション、コンピュータ操作の基礎、学内の情報環境と利用方法
2	オペレーティングシステムの基本操作とファイル操作
3	インターネットと電子メール
4	ワープロソフトの基本操作1(文書の作成と管理)
5	ワープロソフトの基本操作2(文書の編集機能)
6	ワープロソフトの応用操作1(表やグラフを挿入した文書の作成)
7	ワープロソフトの応用操作2(ビジュアルな文書の作成)
8	論文・レポートの書き方1(読みやすいレイアウトの長文作成)
9	論文・レポートの書き方2(長文の編集と加工)
10	プレゼンテーションソフトの基本操作(プレゼンテーション資料の作成)
11	プレゼンテーションソフトの応用操作(効果的なプレゼンテーション資料の作成)
12	プレゼンテーションの実施
13	総合課題演習1(文書作成)
14	総合課題演習2(レポート作成)
15	まとめ

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書

「情報処理の基礎 - 十文字学園女子大学情報処理基礎共通テキスト - 」 日経BP社

科目名	マルチメディア活用		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(H)-学部専門科目		
学 年		ク ラ ス	1Jクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(福祉) / 小学校教諭一種免許状		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報基礎」の科目の一つであり、基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要不可欠な基礎的知識や態度を身につける。主にコンピュータ操作、インターネット、日本語文書処理ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法について学習する。

学修目標

学内の情報環境を理解し、利用できる。

インターネットや電子メールの概念を理解し、利用できる。

文書作成機能を使ってビジネス文書やレポート・論文を作成することができる。

プレゼンテーション資料を作成することができる。

内容

1	オリエンテーション、コンピュータ操作の基礎、学内の情報環境と利用方法
2	オペレーティングシステムの基本操作とファイル操作
3	インターネットと電子メール
4	ワープロソフトの基本操作(文書の作成と管理)
5	ワープロソフトの基本操作(文書の編集機能)
6	ワープロソフトの応用操作(表やグラフを挿入した文書の作成)
7	ワープロソフトの応用操作(ビジュアルな文書の作成)
8	論文・レポートの書き方(読みやすいレイアウトの長文作成)
9	論文・レポートの書き方(長文の編集と加工)
10	プレゼンテーションソフトの基本操作(プレゼンテーション資料の作成)
11	プレゼンテーションソフトの応用操作(効果的なプレゼンテーション資料の作成)
12	プレゼンテーションの実施
13	総合課題演習(文書作成)
14	総合課題演習(レポート作成)
15	まとめ

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	マルチメディア活用		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（H）-学部専門科目		
学 年		ク ラ ス	1Kクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状（福祉） / 小学校教諭一種免許状		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報基礎」の科目の一つであり、基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要な基礎的知識や態度を身につける。主にコンピュータ操作、インターネット、日本語文書処理ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法について学習する。

学修目標

学内の情報環境を理解し、利用できる。

インターネットや電子メールの概念を理解し、利用できる。

文書作成機能を使ってビジネス文書やレポート・論文を作成することができる。

プレゼンテーション資料を作成することができる。

内容

1	オリエンテーション、コンピュータ操作の基礎、学内の情報環境と利用方法
2	オペレーティングシステムの基本操作とファイル操作
3	インターネットと電子メール
4	ワープロソフトの基本操作1（文書の作成と管理）
5	ワープロソフトの基本操作2（文書の編集機能）
6	ワープロソフトの応用操作1（表やグラフを挿入した文書の作成）
7	ワープロソフトの応用操作2（ビジュアルな文書の作成）
8	論文・レポートの書き方1（読みやすいレイアウトの長文作成）
9	論文・レポートの書き方2（長文の編集と加工）
10	プレゼンテーションソフトの基本操作（プレゼンテーション資料の作成）
11	プレゼンテーションソフトの応用操作（効果的なプレゼンテーション資料の作成）
12	プレゼンテーションの実施
13	総合課題演習1（文書作成）
14	総合課題演習2（レポート作成）
15	まとめ

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

科目名	マルチメディア活用		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（H）-学部専門科目		
学 年		ク ラ ス	1Lクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状（福祉） / 小学校教諭一種免許状		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報基礎」の科目の一つであり、基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要な基礎的知識や態度を身につける。主にコンピュータ操作、インターネット、日本語文書処理ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法について学習する。

学修目標

学内の情報環境を理解し、利用できる。

インターネットや電子メールの概念を理解し、利用できる。

文書作成機能を使ってビジネス文書やレポート・論文を作成することができる。

プレゼンテーション資料を作成することができる。

内容

1	オリエンテーション、コンピュータ操作の基礎、学内の情報環境と利用方法
2	オペレーティングシステムの基本操作とファイル操作
3	インターネットと電子メール
4	ワープロソフトの基本操作1（文書の作成と管理）
5	ワープロソフトの基本操作2（文書の編集機能）
6	ワープロソフトの応用操作1（表やグラフを挿入した文書の作成）
7	ワープロソフトの応用操作2（ビジュアルな文書の作成）
8	論文・レポートの書き方1（読みやすいレイアウトの長文作成）
9	論文・レポートの書き方2（長文の編集と加工）
10	プレゼンテーションソフトの基本操作（プレゼンテーション資料の作成）
11	プレゼンテーションソフトの応用操作（効果的なプレゼンテーション資料の作成）
12	プレゼンテーションの実施
13	総合課題演習1（文書作成）
14	総合課題演習2（レポート作成）
15	まとめ

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

科目名	マルチメディア活用		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(H)-学部専門科目		
学 年		ク ラ ス	1Mクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(福祉) / 小学校教諭一種免許状		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報基礎」の科目のひとつであり、基本的な情報機器の操作技能を修得します。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要な基礎的知識や態度を身につける。主にコンピュータ操作、インターネット、日本語文書処理ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法について学習する。

学修目標

学内の情報環境を理解し、利用できる。

インターネットや電子メールの概念を理解し、利用できる。

文書作成機能を使ってビジネス文書やレポート・論文を作成することができる。

プレゼンテーション資料を作成することができる。

全学共通です。

内容

全学共通です

1	オリエンテーション、コンピュータ操作の基礎、学内の情報環境と利用方法
2	オペレーティングシステムの基本操作とファイル操作
3	インターネットと電子メール(Eメール)
4	ワープロソフト(Microsoft Word)の基本操作 : 文書の作成と管理
5	ワープロソフト(Microsoft Word)の基本操作 : 文書の編集機能
6	ワープロソフト(Microsoft Word)の応用操作 : 表やグラフを挿入した文書の作成
7	ワープロソフト(Microsoft Word)の応用操作 : ビジュアルな文書の作成
8	論文・レポートの書き方 : 読みやすいレイアウトの長文作成
9	論文・レポートの書き方 : 長文の編集と加工
10	プレゼンテーションソフト(Microsoft PowerPoint)の基本操作 : 資料の作成
11	プレゼンテーションソフト(Microsoft PowerPoint)の応用操作 : 効果的な資料の作成
12	プレゼンテーション(Microsoft PowerPoint)の実施
13	総合課題演習(文書作成)
14	総合課題演習(レポート作成)
15	まとめ

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

北原俊一・安達一寿・中尾茂子『情報処理の基礎 十文字学園女子大学情報処理基礎共通テキスト』2011 日経BP社

科目名	マルチメディア活用		
担当教員名	北原 俊一		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(H)-学部専門科目		
学 年	4	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、学部共通科目の学部専門科目の一つであり、マルチメディア活用 の継続として基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要な基礎的知識や態度を身につける。主に、表計算ソフトの操作方法およびWebページの作成方法について学習する。

学修目標

表計算ソフトを使って集計表およびグラフを作成することができる。

表計算ソフトを使って基礎的なデータ分析を行うことができる。

Webページのしくみを理解する。

基本的なHTMLタグを使ってWebページを作成することができる。

内容

- 1．表計算ソフトの基本操作(表の作成と編集)
- 2．表計算ソフトの基本操作(数式・関数の利用)
- 3．表計算ソフトの基本操作(グラフの作成)
- 4．表計算ソフトの問題演習(数式・関数の活用)
- 5．表計算ソフトの問題演習(目的に応じたグラフの作成)
- 6．表計算ソフトの応用操作(データの並べ替えと抽出)
- 7．表計算ソフトの応用操作(データの集計と分析)
- 8．Webページの作成(基本的なHTMLタグの使い方)
- 9．Webページの作成(画像の配置、リンクの設定)
- 10．Webページの作成演習(サイトの設計)
- 11．Webページの作成演習(サイトの作成)
- 12．総合課題演習(各種集計表の処理)
- 13．総合課題演習(データの整理と分析)
- 14．応用課題演習(ソフトの統合利用)
- 15．まとめ

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

「情報処理の基礎 - 十文字学園女子大学情報処理基礎共通テキスト - 」 日経BP社

科目名	マルチメディア活用		
担当教員名	名児耶 厚		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（H）-学部専門科目		
学 年	4	ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

ねらい

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報基礎」の科目の一つであり、情報処理演習 の継続として基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要な基礎的知識や態度を身につける。主に、表計算ソフトの操作方法およびWebページの作成方法について学習する。

学修目標

表計算ソフトを使って集計表およびグラフを作成することができる。

表計算ソフトを使って基礎的なデータ分析を行うことができる。

Webページのしくみを理解する。

基本的なHTMLタグを使ってWebページを作成することができる。

内容

内容

- 1．表計算ソフトの基本操作（表の作成と編集）
- 2．表計算ソフトの基本操作（数式・関数の利用）
- 3．表計算ソフトの基本操作（グラフの作成）
- 4．表計算ソフトの問題演習（数式・関数の活用）
- 5．表計算ソフトの問題演習（目的に応じたグラフの作成）
- 6．表計算ソフトの応用操作（データの並べ替えと抽出）
- 7．表計算ソフトの応用操作（データの集計と分析）
- 8．Webページの作成（基本的なHTMLタグの使い方）
- 9．Webページの作成（画像の配置、リンクの設定）
- 10．Webページの作成演習（サイトの設計）
- 11．Webページの作成演習（サイトの作成）
- 12．総合課題演習（各種集計表の処理）
- 13．総合課題演習（データの整理と分析）
- 14．応用課題演習（ソフトの統合利用）
- 15．まとめ

評価

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

「情報処理の基礎 - 十文字学園女子大学情報処理基礎共通テキスト - 」 日経BP社

科目名	マルチメディア活用		
担当教員名	綿井 雅康		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (H) - 学部専門科目		
学 年	4	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報基礎」の科目の一つであり、情報処理演習 の継続として基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要な不可欠な基礎的知識や態度を身につける。主に、表計算ソフトの操作方法およびWebページの作成方法について学習する。

学修目標

- ・表計算ソフトを使って集計表およびグラフを作成することができる。
- ・表計算ソフトを使って基礎的なデータ分析を行うことができる。
- ・Webページのしくみを理解する。
- ・基本的なHTMLタグを使ってWebページを作成することができる。

内容

1	表計算ソフトの基本操作 1 (表の作成と編集)
2	表計算ソフトの基本操作 2 (数式・関数の利用)
3	表計算ソフトの基本操作 3 (グラフの作成)
4	表計算ソフトの問題演習 1 (数式・関数の活用)
5	表計算ソフトの問題演習 2 (目的に応じたグラフの作成)
6	表計算ソフトの応用操作 1 (データの並べ替えと抽出)
7	表計算ソフトの応用操作 2 (データの集計と分析)
8	Webページの作成 1 (基本的なHTMLタグの使い方)
9	Webページの作成 2 (画像の配置、リンクの設定)
10	Webページの作成演習 1 (サイトの設計)
11	Webページの作成演習 2 (サイトの作成)
12	総合課題演習 1 (各種集計表の処理)
13	総合課題演習 2 (データの整理と分析)
14	応用課題演習 (ソフトの統合利用)
15	まとめ

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

